

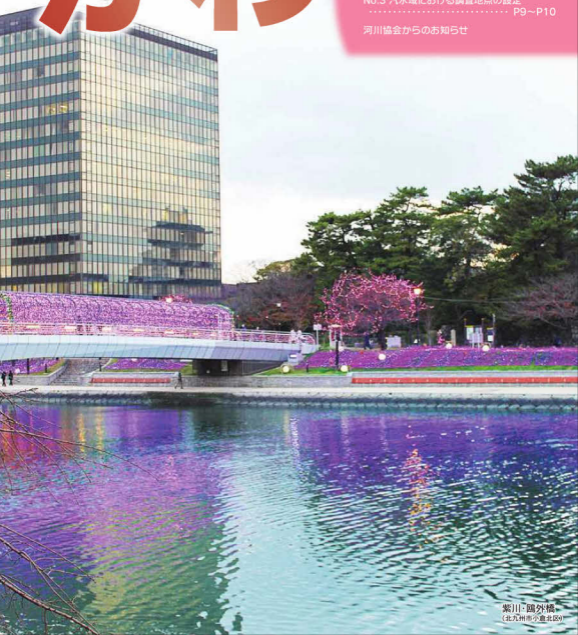


2021.1.1

Vol.248 Contents



会長年頭あいさつ	P1
河川愛護コンクール表彰	P2~4
わがまちのかわ◎第46回 熊手町	P5~P6
第17回ふくおか水もり自慢!	P7~P8
ふくおかの身近な川とさかなを知ろう/ No.3 汽水域における調査地点の設定	P9~P10
河川協会からのお知らせ	





年頭のご挨拶



明けまして
おめでとうございます

福岡県河川協会

会長 片岡 誠二

(福岡県議会県土整備委員会委員長)

新しい年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協会は、本年の6月で昭和26年の設立から70年の節目を迎えることとなります。

このような長きにわたり歴史を積み重ねてこれたのは、会員各位をはじめ関係者の皆様のご支援、ご協力によるものと心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが世界中で感染拡大し、各国でロックダウンという前代未聞の措置が実施され、人々の行動が大きく制限されました。

日本においては、東京オリンピック・パラリンピックの延期、更には緊急事態宣言が発令され、私たちの生活や経済活動は深刻な打撃を受けることとなりました。

このような中、日本各地で水害、土砂災害が多発し、自然の猛威を目の当たりにすることとなります。

特に、令和2年7月豪雨では、熊本県を流れる球磨川の氾濫・決壊により、家屋や特別養護老人ホームが水没し、多くの尊い命が奪われる大災害となりました。

また、大牟田市では、7月6日午前3時からの3時間で252ミリという「経験したことのない雨量」を観測するなど、気候変動に伴う災害の激甚化が懸念されています。

福岡県では、平成29年九州北部豪雨から4年連続で災害が発生し、甚大な被害を受けました。

現在、関係機関において災害復旧工事等が進められておりますが、いつ起きるかわからない水害等から命を守るためには、日頃から必要な知識を習得し、適切な避難行動をとることが求められています。

当協会といたしましては、災害復旧の迅速な実施等のため、災害復旧実務講習会や河川事業現地研修会を開催するなど市町村等の支援を行うとともに、機関誌「かわ」やホームページを通じて、河川に関する情報の提供に努めております。

今後とも、総合的な治水対策や豊かな河川環境の整備に積極的に関わって参りたいと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう折念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和2年度

河川愛護絵画コンクール

表彰式



河川愛護事業
イメージキャラクター
よみガエルくん

令和2年度福岡県河川愛護絵画コンクール表彰式が、福岡市西区の「さいとびあ」で行われました。

特等の方3名、1等の方4名が出席され、受賞者には表彰状と盾が福岡県土整備部河川整備課喜多島課長から授与されました。

■ 日時 令和2年12月6日(日)12:00～

■ 場所 さいとびあ 福岡市西区西部2丁目1-1
第17回「ふくおか水もり自慢!伊都」



(写真左から)

福津市立津屋崎小学校2年

田川 煌さん

行橋市立今川小学校3年

坂井 希匠さん

苅田町立馬場小学校5年

進 実可子さん

(写真左から)

久留米市立山川小学校3年

権藤 史桜さん

苅田町立馬場小学校4年

伊藤 莉央奈さん

みやこ町立黒田小学校5年

井上 翼さん

苅田町立馬場小学校6年

中川 斗貴さん



受賞者の皆さん、おめでとうございます!!

過去の受賞作品はこちら

URL:<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/concours/>



河川愛護絵画コンクール 優秀作品の講評

今年度も「河川愛護絵画コンクール」では県内63の小学校から1,001点の応募があり、その中から96点を入賞としました。今回は特等、一等入賞の子供たちの絵を紹介します。

特等

低学年



つきぬけるような青い空と白い雲から夏のすがすがしさを感じます。ゆるやかに傾いた川辺の草や気持ちよさそうに飛んでいるトンボからはさわやかな風が吹いているのが伝わってきます。川の中を見ていると、形や模様など特徴をよくとらえている何とも愛らしいカエルが、まるで今にも岩の上から飛び出してきそうな生き生きとした表現で描かれています。

福津市立津屋崎小学校 2年 田川 煌さん

特等

中学年



川の底が見えるくらいに澄んだきれいな水だったので、多くの人は川の水を描くときに青色を多く使いますが、クリーム色や黄土色を使った水の表現が透明感を強調しています。また、遠くに小さく見える山や木々と前方に大きく広がった川幅が遠近感を生み、画面に奥行を感じます。澄みきった川で楽しそうに泳いでいる子どもたちと魚たちが印象的な作品です。

行橋市立今川小学校 3年 坂井 希匠さん

特等

高学年



画面を切り取るように大胆に描いた大きな枝、手前から奥に向かってどんどん複雑になっていく草や木々の表し方など巧みな画面構成で、見る人を中心の人物に注目させているところはさすが高学年の作品です。隅に潜んでいる魚に気付かれないように、二人でそっと近づいているのでしょう。息をひそめて魚を捕まえようとしている緊張感を見事に表現している作品です。

苅田町立馬場小学校 5年 進 実可子さん

1等



北九州市立大原小学校 1年
近藤 太郎 さん



みやこ町立砥郷小学校 2年
穴井 菜々子 さん



久留米市立山川小学校 3年
藤藤 史桜 さん



苅田町立馬場小学校 4年
伊藤 莉央奈 さん



みやこ町立黒田小学校 5年
井上 翼 さん



苅田町立馬場小学校 6年
中川 斗貴 さん

2等

1年	柳川市立藤見小学校	成清 杏
	上毛町立南吉富小学校	ふたつぎ あゆ石
2年	朝倉市立原田小学校	池上 聖々羽
	みやこ町立石小小学校	津田 三太
3年	みやま市立南小小学校	平 翼
	福岡市立南小小学校	吉原 花香
4年	上毛町立南吉富小学校	北山 耀輝
	みやこ町立黒田小学校	池上 暁々叶
5年	福岡市立東吉原小学校	竹石 再生
	みやま市立南小小学校	成清 佳奈
6年	苅田町立馬場小学校	相岡 源虹
	朝倉市立朝倉東小学校	池田 珠妃

3等

1年	柳川市立藤見小学校	かい そうき
	行橋市立原小小学校	北方 燦輝
	飯塚市立原田小学校	高橋 佛馬
	福岡市立福崎小学校	前川 穂華
2年	福岡市立福崎小学校	赤原 悠平
	福岡市立津屋崎小学校	塚山 勇哉沙
	みやま市立南小小学校	松岡 太朗
3年	八女市立黒木小学校	小川 瑠流
	小都市立三國小学校	西ノ原 莉子
	苅田町立馬場小学校	香原 彰歌
4年	苅田町立与原小学校	尾崎 翔輝
	苅田町立与原小学校	山田 咲愛
	福岡市立福崎小学校	濱地 優花
5年	苅田町立馬場小学校	瀨田 真愛
	みやこ町立黒田小学校	前山 晃治

6年	苅田町立与原小学校	宮原 崇彰
	苅田町立与原小学校	田上 颯
	春日市立春日南小学校	小野 兜太郎

佳作

1年	福岡市立福崎小学校	乾 真帆
	福岡市立遠小小学校	中島 夢穂
	糸島市立松野小学校	宗 志徳
	苅田町立馬場小学校	森山 彬徳
	みやこ町立砥郷小学校	白川 秀和
2年	八女市立筑南小学校	東 咲希
	福岡市立津屋崎小学校	本田 蒼一
	福岡市立三國小学校	杉浦 慧聖
	香春町立探訪所小学校	森下 真愛
	福岡市立三國小学校	花田 祐樹
	柳川市立矢留小学校	石井 俊葉
	柳川市立矢留小学校	梅谷 百々叶
	上毛町立南吉富小学校	定立 るい
	上毛町立南吉富小学校	山本 まほ
	上毛町立南吉富小学校	奥西 りくこ
3年	みやこ町立砥郷小学校	宮崎 梓
	朝倉市立朝倉東小学校	鹿田 結希
	福岡市立津屋崎小学校	久富 聖治
	小都市立三國小学校	平井 蒼生
	福岡市立福崎小学校	矢野 環大
	柳川市立中山小学校	坂田 雄也
	みやま市立南小小学校	平方 雄也
4年	上毛町立南吉富小学校	三吉 ゆりあ
	みやこ町立久保小学校	齊藤 彰彰
	みやこ町立久保小学校	矢部 一帆
	みやこ町立砥郷小学校	工藤 鈴音

3年	八女市立黒木小学校	林田 晴輝
	香春町立勾金小学校	柳生 萌衣
	福岡市立千早小学校	渡邊 咲那
	糸島市立松野小学校	宗 雅海
	柳川市立矢ヶ部小学校	川津 美空
	みやま市立安舞舞小学校	菅原 透人
4年	大木町立本佐小学校	黒田 楓美
	豊前市立立石小小学校	末松 愛子
	行橋市立原小小学校	石田 瑞太郎
	苅田町立与原小学校	菅田 果希
	福岡市立津屋崎小学校	小原川 直馬
	久留米市立立吉小学校	村山 凛
	行橋市立今元小学校	吉田 和
	苅田町立馬場小学校	小池 元気
	苅田町立与原小学校	高内 志雄
	みやこ町立黒田小学校	吉武 ことほ
5年	みやこ町立黒田小学校	石渡 陽大
	北九州市立大原小学校	藤田 遼
	福岡市立津屋崎小学校	菊池 彰乃
	福岡市立津屋崎小学校	文野 美波
	福岡市立津屋崎小学校	村上 舞衣
	苅田町立馬場小学校	大森 貴樹
	みやま市立南小小学校	平 小次郎
	朝倉市立立石小小学校	津田 中
	朝倉市立立石小小学校	西 温人
	福岡市立朝倉東小学校	赤崎 夢
	八女市立上郷北湾学園	平田 隼
6年	北九州市立すがお小学校	中島 大翔
	春日市立春日南小学校	森 春輝
	小都市立三國小学校	福田 雅果
	小都市立三國小学校	山下 優希

令和3年度も河川愛護絵画コンクールを行う予定です。学校を通じて募集をおこないますので、皆様ぜひご参加ください。

スケジュール(予定) 案内 / 令和3年5月下旬頃、応募締切 / 令和3年9月初め、入賞者決定 / 令和3年10月頃、表彰式(特等、1等のみ) / 令和3年12月頃

わがまちの かわ

第46回

鞍手町



福岡県



通賢川水系 鞍手川 西川 春日橋下流(鞍手町大字古門付近)

■ 鞍手町の概要

鞍手町は、福岡市と北九州市の両政令市の中に位置する福岡県北西部の町です。昭和30年に刺町、西川村、古月村が合併し鞍手町となり、石炭産業の隆盛と併せて町も大きく発展してきました。昭和30年代後半からの高度成長期のエネルギー革命による相次ぐ炭坑の閉山後は積極的な企業誘致や住宅団地の造成により、炭坑に依存した町から、農業、工業、商業のバランスの取れた町へと大きく変容しています。町内を見渡すと緑豊かな田園風景が広がります。初夏には飛び交うホテルによる幻想的な光景を見ることができ、一年を通じて珍しい野鳥も訪れ、豊かな自然に恵まれた環境となっています。

鞍手町には南北を縦断する一級河川西川があり、起点の鞍手町より遠賀町、芦屋町へと流れ、町の東端部を流れる一級河川遠賀川へ合流する河川となっています。この西川は町内に流れる南田川、北田川、長谷川と合流している大きな河川であり、昔は石炭の輸送による多くの船が往来し、町の発展にも大きく貢献いたしました。また、過去には鮭の稚魚を西川に放流する活動も行われていたこともあり、地域に親しみのある河川でもあります。

現在では流域に多くの住宅が立ち並んでおり、過去には豪雨による道路や家屋の浸水被害が頻発していたため、梅雨時期や台風時期には心配されますが、近年では、西川の河川改修が進んだことで川幅も大きくなり、浸水被害も年々減少しています。

鞍手町の特産品としては、いちごや卵、巨峰等があり、巨峰は県内でも有数の産地で直売所も数多くあります。「鞍手ぶどう」としてブランド化をしており、収穫期には町内外から多くの方が直売所に訪れています。

また、平成27年には中学校の統廃合に伴い、廃校となった校舎を活用した、「くらて学園」があります。「くらて学園」はコスプレの聖地として、イベント開催時には県内のみならず県外からも多くの人で賑わいます。

平成23年には九州自動車道 鞍手インターチェンジが開通し、平成27年には遠賀川に北九州市との架け橋となる「北九鞍手夢大橋」が開通したことにより、大都市へのアクセスが飛躍的に改善されました。このアクセスの良さと緑豊かな田舎らしさを活かした企業誘致や交流人口の増加等の取り組みをより一層進めています。



1級河川遠賀川 北九鞍手夢大橋付近

ホタル



ゲンジボタルは豊かな緑ときれいな水辺に生息しており、6月頃になると町内の様々な場所で蛍が見られ、一目見ようと多くの人々が訪れます。

長谷観音(国指定重要文化財)



「長谷の観音さん」愛称で親しまれている。平安時代の仏像です。頭部から蓮の台座まで1本のクスから彫り出されています。背面には船の形をした光背(こうはい)と呼ばれる板の飾りがあり、表面には炎の文様が描かれています。

中山不動尊(国指定重要文化財)



平安時代後期の作と思われる本尊は、虫害や損傷がなどで痛ましく朽ちて歴史の澁れを感じさせますが、力強い怒りの形相に堂々とした迫力があります。両脇の二童子は優雅な曲線の造形で本尊と三位一体の調和の美しさがあります。

六嶽神楽



六嶽神社は京像三女神降臨の神話を持つ六ヶ岳の山麓にあつて、神社の春祭りに六嶽神楽が奉納されます。江戸時代からの歴史があり、鞍手地域で唯一現在も継承されている舞神楽です。

くらて学園



くらて学園は母校(旧鞍手南中学校)を活用してサブカルチャーのイベント事業等を行っており、毎月くらて学園主催のコスプレイベントも行ってあります。

鞍手ぶどう(巨峰)



芳醇でまろやかな甘味とみずみずしさが特徴の巨峰。その栽培は戦後まもなく導入され、以来、半世紀以上にわたる生産者の研究と努力に支えられ、今日まで特産品として、大切に受け継がれました。

ふくおか水もり自慢!

第17回 ふくおか水もり自慢! in伊都を開催しました!

令和2年12月6日(日)に福岡市西区の福岡市西部地域交流センター「さいとびあ」において、「第17回 ふくおか水もり自慢! in伊都」が開催されました。

「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水・もり(森)」「(山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など)に関わる活動をしている団体(学校、市民団体、NPO、企業、国、地方自治体)が一堂に会し、異分野交流や行政と市民とのパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動内容や学び、今後の活動の糧とするためのイベントです。福岡、筑後、北九州、筑豊の4ブロックを持ち回りで毎年1回開催しています。

今年の「水もり自慢!」はコロナ禍の中、皆様に安心してご参加いただくため、感染防止対策を実施し開催しました。昨年度は英彦山川の源流である雲峰英彦山、添田町で開催しましたが、今年は山から海へ移り、博多湾が面する福岡市西区での開催となりました。

活動発表では30団体の報告があり、市民団体や行政、大学などが、寸劇やパワーポイント、パネル等による発表で、活動を熱心に報告し、「水もり」に関わる様々な団体同士が交流を深めることができました。また、例年に比べ海をフィールドとする団体の発表が多くみられ、山から川、海までの繋がりをこれまで以上に実感することができました。

午後の「水もり振り返りトークセッション」では、立ち上げ初期から関わっている市民、大学、行政の代表者が「水もり」立ち上げの時の裏話や過去大会の思い出、これからの水もりへの期待など、意見を交わし参加者と共有しました。

来年度は筑後ブロックで開催する予定です。詳細については、来年度に福岡県県土整備部河川整備課HP等でお知らせします。多くの方々のご参加をお待ちしております!



福岡県河川愛護事業イメージキャラクター
よみガエルくん

【第17回ふくおか水もり自慢! in伊都 当日のプログラム】

- 9:30 開会行事
- 9:40 講演:「博多湾の魅力と、海を元気にする取り組み」
(一般社団法人ふくおかFUN 代表理事 大神 弘太郎)
- 9:55 活動報告セッション(30団体)
 - 活動報告(1団体につき3分)
 - 発表団体への質問コーナー
 - 全員参加クイズ
 - 子どもの部 表彰
- 15:25 振り返りトークセッション
- 16:05 閉会行事



講演の様子

【活動報告】

各団体は、それぞれの活動を持ち時間3分で披露します。今回は30団体の発表がありました。絵やパネル、スライド、劇などで各団体の活動を報告し交流を深めました。



【発表団体（敬称略、順不同）】（計30団体）

・「川」で活動している団体(16団体)

遠賀川流域子ども水フォーラム、筑後川・矢部川・嘉瀬川流域史研究会、田川ふるさと川づくり交流会、古賀河川図書館、特定非営利活動法人 柴川を守る会、堀川再生の会・五平太、南鳳校区 多久川の自然環境を守る会、福岡市役所道路下水道局建設部河川課、九州大学大学院工学研究院流域システム工学研究室、福岡工業大学森山研究室、水と緑の学校、福岡大学、龍王・山・里・川の会、一般社団法人STANDARD KOGA、福岡県福岡県土整備事務所、福岡県県土整備部河川管理課・河川整備課

・「海」で活動している団体(7団体)

ASCJ、FUKUOKAおさかなレンジャー実行委員会、一般社団法人ふくおかFUN、日本カブトガニを守る会福岡支部、九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室、くらげれんごう、豊の国海山幸ネット

・「山」で活動する団体(4団体)

土居自然学校、古賀市緑のまちづくりの会、英彦山こてんぐ塾、北九州インタープリテーション研究会

・「里」で活動する団体(3団体)

特定非営利活動法人アザメの会、河川環境ボランティア、ぐりんぐりん古賀

【振り返りトークセッション】



ふくおかの身近な川と さかなを知ろう!

No.3

狙い

乾
隆帝



汽水域における調査地点の設定

乾です。前号でも全く同じことを書きましたが、また執筆のタイミングで新型コロナウイルスの陽性者数が増加して安心できない状況になってきました。前号・前々号同様、これが出版される頃には少し落ち着いた状況になってほしいものです。

さて、今回は汽水域に調査に行く際の恰好、特に干潟調査にも対応できるようなイメージでの調査時の装備について説明しましたが、今回は、汽水域でハゼ類の採集調査をするときの方法について説明していきたいと思います。

まず、汽水域のハゼ類の調査で最も大切なのは「地点設定」です。調査のパターンとしては、ある特定の種に絞って複数の河川でその種の「分布や生息環境」を明らかにするような調査と、特定河川でハゼ類の「種組成」を明らかにするような調査におおまかに大別できると思います。

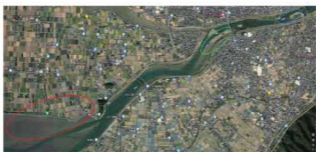
ある特定の種に絞って複数の河川で調査をおこなう場合、金銭的・時間的余裕があれば、もちろん調査区域内の全ての河川で調査することが理想ですが、実際にはなかなかそういう訳にもいきませんので、事前にある程度「いそうな」河川を絞り込む必要があります。以前は、25000分の1の地図と眺めっしながら、良さそうな河川を探していたものですが、近年はGoogleマップの航空写真で、汽水域がかなり鮮明に見えるようになってきました。ある程度狙いの種の生息環境が分かっている状態であれば、Googleマップの航空写真を事前に念入りに見ておくことで、調査すべき河川の優先順位を着けることは

難しくないでしょう。とはいえ、干潮時の写真ではないことが多いですので、満潮時でも水没しない水際域の様子から、潮間帯の様子を想像する技術も身に付けておく必要があるかもしれません。ただ、狙いの種の生息環境が全く分かっていない状態ではこの方法は通用しないですので、まずは狙いの種の生息記録がある場所に行って、一度実際に採集してみるということが重要です。

特定河川のハゼ類の種組成を明らかにするような調査においても、Googleマップの航空写真は非常に役に立ちます。種組成を明らかにすることを目的とした場合は、その河川でこの1地点で調査すればOK、ということはずがありません。なぜなら、汽水域にも純淡水域の上流、中流、下流のように、縦断（流程）方向に生物相が大きく変化します。その生物相の違いは、塩分暴露と河床材料（底質）によっておおむね説明することができます。基本的には、下流から上流にかけて塩分は低くなり、河床材料の粒径は大きくなります。ハゼ類の種数だけを見れば、下流部の塩分が高く、河床材料が小さいエリアのほうが多いですが、そのような地点だけ調査をしても、上流部に生息するハゼ類は採集することはできません。ですので、(1)下流部の塩分が高く河床材料の小さい地点、(2)中流部の塩分が中程度で河床材料も中程度の地点、(3)上流部の塩分が低く河床材料の大きい地点の3か所は、少なくとも調査をする必要があると思います。ただし、上流部の塩分が低く河床材料の大きい地点は、河口堰があるような川では存在しないかもしれない（堰の湛水区間になってしまっている）ことには留意しておいてください。と、いきなり言わ



(A) 佐波川



(B) 球磨川

れてもなかなかイメージがつかないと思いますので、Googleマップの航空写真を使いながら説明していきたいと思います。**(A)**は山口県の瀬戸内海に流入する佐波川、**(B)**は熊本県の八代海に流入する球磨川です。両河川とも、日本屈指の汽水性ハゼ類の種多様性を誇る河川です。佐波川、球磨川ともに、赤丸で示したエリアが(1)下流部の塩分が高く河床材料の小さい地点、緑丸で示したエリアが(2)中流部の塩分が中程度で河床材料も中程度の地点、青丸で示したエリアが(3)上流部の塩分が低く河床材料の大きい地点です。佐波川は、球磨川に比べて潮が満ちているので少し見づらいかもかもしれませんが、赤丸で示したエリアは少し茶色っぽく、緑丸や青丸で示したエリアは少し白っぽく見えると思います。茶色っぽいところは、干潮時には砂や泥の干潟が、白っぽいところは干潮時には礫の干潟が広がります。緑丸と青丸のエリアを写真だけで区別するのは慣れるまで難しいとは思いますが、前者は砂州にヨシが、後者は砂州にヤナギ類が生えていることが多いように思います。そして、赤丸、緑丸、青丸のエリアいずれも、砂州形状を成しているのが分かるかと思います。つまり、砂州形状を成しているようなエリアを上下流方向に複数点調査することが、特定河川のハゼ類の種組成を明らかにするための調査のコツと言えるでしょう。

ち なみに、(1)下流部の塩分が高く河床材料の小さい地点では、環境省や福岡県のレッドリスト・レッドデータブックに掲載されているような種で

はキセルハゼやタビラクチ、マサゴハゼ、エドハゼ、チクゼンハゼ、ヒモハゼ、トビハゼなどが生息しています。(2)中流部の塩分が中程度で河床材料も中程度の地点では、環境省や福岡県のレッドリスト・レッドデータブックに掲載されているような種ではクボハゼやイドミミズハゼなどが生息しています。(3)上流部の塩分が低く河床材料の大きい地点では、環境省や福岡県のレッドリスト・レッドデータブックに掲載されているような種で周年生息しているような種は少ないですが、春にシロウオが産卵します。また、太平洋流入河川においては、希少ミミズハゼ類が生息しています。

次回は、それぞれのエリアにおける具体的な採集の方法を説明していきたいと思います。

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 准教授
 - 応用生態工学会編集委員
 - 土木学会水工学論文編集委員
 - 環境省レッドリスト検討委員
 - 主な著書／
 - レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
 - 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014)
- など

河川協会からのお知らせ



今年度の要望活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事務局3名で実施しました。

【福岡県河川協会の要望活動】

福岡県河川協会は、令和2年10月29日(木)に、通常総会において決議された災害復旧及び防災事業等の促進について、国土交通省及び地元選出国会議員の方々に對し要望活動を行いました。

福岡県では、「平成29年7月九州北部豪雨」、「平成30年7月豪雨」、「平成元年大雨」からの復旧復興に取り組んでいる中、令和2年7月の記録的な大雨により、4年連続で甚大な被害が発生しました。

このため、災害からの早期復旧及び災害防止対策の推進、安定的な予算確保等について要望いたしました。

【令和2年度 災害復旧促進全国大会】

令和2年11月11日(水)に災害復旧促進全国大会が開催され、福岡県からは、みやま市長、大刀洗町長、東峰村長が参加されました。

国土交通省水管理・国土保全局防災課長から「令和2年の災害と対応」について説明があり、また、令和2年度災害復旧及び災害防止事業功労者表彰が行われました。

その後、「災害復旧促進に関する決議」が行われ、地元選出国会議員の方々に要望活動を行いました。



【令和2年度 治水事業促進全国大会】

令和2年11月12日(木)に治水事業促進全国大会が開催され、福岡県からは31市町村が参加されました。

また、熊本県人吉市長から「熊本県人吉市における令和2年7月豪雨災害」その概要と被害状況・対策について意見発表が行われました。

その後、「治水関係事業の促進について」決議が行われ、地元選出国会議員の方々に要望活動を行いました。

編集
後記

1年延期されたオリンピック、これまでに5回の中止があったそうです。河川協会も令和2年度の通常総会、要望活動、研修会など殆どどの行事が中止となりました。新しい年は「人類がコロナウイルスに打ち勝ち」以前の日常に戻ることを切に願っています。

(友松・北川)

◆STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県東区築港部川管理課内)
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
 TEL:092-633-2826(直通)
 FAX:092-643-3669
 企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

